

For Adults Only

成年向

SABER
&
RIN



イチャイチャ icyaicya
maryokukyoyuu

魔力♥供給

UNIZO



じゃ、
行ってくる

いってらっしゃい
二人とも楽しんで
来て下さいね

帰りは遅く
なるから

あっ
お土産楽しみに
してるから

忘れないでね♥

はいはい！
わかってますって



ほう…？
家の者は
出払って
いるのか

手間が
省けたな



セイバー
ちよつと仮眠
取ってくるわね





はあ、

はあ、

君が
いけない
んだよ



声でささやう……

やあ……

き、



アッ！

だめっ
ダメダメ



昨日……
あんな

酷い事をした
のだから

キ、



アーチャー
私の脚ばかり
見てるでしょ

ヘンタイ



ふむ……

そうだね

この状況では
限りなく

そこにしか目が
いかないとと思うよ

どスケベ

女の子に
こんな事して
もらって

からかうのも
いい加減に……

た、確かにあれは
悪ノリし過ぎたかも
しれないけど！

コーファン
しちゃうんだあ？





別に変な事なんて
していないはずだが
丁度手を回した
所に手触りのいい
肉があつてね

で、人が寝てる
間に楽しんで
たんだ

楽しんで
いたよ

君の寝顔を

なにを言ってるのよ
コンツはー

真顔で
言うなーっ!



つていうか

あんっ、ちょよ……
ダメだつてばあ

サーヴァントが
マスターに逆らつて
いいとでも思つてるの？

君も楽しんで
いるなら構わん
だろう？

べっ別に
楽しんで
なんかっ

なんとも
思つてない男と
同衾するのか
君は？



それだけ
なんだからっ

アーチャーの体温が
温かったから
熱をもらっただけ

キッ
アッ



私はね
利用してる
だけよ!

?

キッ
アッ



こらっ…
アーチャー
やんっ!

…私を
殺す気か
凛…

キッ
アッ



離しなさいっ

んっ
アーチャー…!

キッ
アッ

キッ
アッ

キッ
アッ



…淫乱だな
セイバー？

股座をこんなに
濡らしおって

ケーキ
手土産を
持って来たと言われては
無下に帰すわけにも…

などと思ったのが
間違이었다…！

なっ！
黙れアーチャー
私を愚弄するの
ですかっ

リンが
家にいる

早く
退け！

なんだ
お前だけでは
ないのか

まあ
気にするな

皆、適当に
やってる
だろうさ

アッ…
アーチャー

わ、私おかしく
なっちゃったの
かな…?

凜…

アーチャーの
手…温かい

触れられ
てると安心
する…

行くぞ

あっ…はう！



アーチャー
もう一回奥まで
入れて♡

沢山
ナカで
出して♡

ちゃんと
言ってくれ
ないか

膣内の
締めつけが
よくなった

寝てた時
イきかけて
いただろう

ちよっ…
アンタねえっ

なっ

さっきの台詞が
訊きたかった
のでね…

ワザと
焦らしてるっ

ちよ

アーチャー！

恥肉が
うずいてうずいて
仕方のない声を
出しおって！

どこを舐めて
いるのですかっ！

あて
ちよ

そんなに
念入りには
されては…

こちらも
なんだか
気持よく…♡

ひゃっ♡
あめっ♡

気持ちいい…♡

はあ…
相も変わらず
貴様は…

アッ

おのろろ…

何が駄目
なのだ？

いつ…ちや
う…♡

ひゅっ

まったく
欲深い女よなあ…

普段の
食いっぷり
から予想は
ついたが…

動かし
ちゃ
いぬさー！

んっまうっ
いい加減に
しなさい
アーチャー！

ザッ
ツッ

くっ…
パラストやらのこの

スパスパとした感触のせいか
変な気持ちになつて…?!

というか
丸見えだぞ
セイバー？!

うんっ!!

ムッ…

ぐど

ムッ
ムッ

勃起が止まらぬ!!

きやつ?!
早くしまいなさい!

ドッ
ツッ

ドッ
ツッ
ドッ
ツッ

ほおれ我が
欲しくなったで
あろう!

なっ

寝言は
寝て言いえ!

フフン
そうだな…

「早くギルガメッシュ様の
おちんほをください♥」

「イかせて下さい♥♥」
と懇願するがよ〜ん〜
セイバーー!

ほれほれ♥
はようせぬか

このたわけ者!

あまり
ふざけた
事を言つと

だつ、男子を
足蹴に?!



イかせて戦意を
喪失させる…

フ

トク

これで暫くは
大人じくなるでしょう

?!

散々弄んで
くれたな?
セイバー

フ

フ

くっ…
何をする!

そんなモノを
押し付けるなっ

たっぶり
可愛がって
やるぞ

そこはっ

あ

ちゅ

ひゃんっ
んん…弄っ
る…なあ!



汁が滴り落ちて来ておるぞ？

あー

あー!!

あー!!

あー

あー!!

あー!!

あー!!

あー!!

あー!!

そう吸い上げずとも...
待てないのか？

腹の奥へ
堅いモツが
蹂躞してくる

だめっ、もっ...
こんなに気持ちよく
されては...



君がそんなはしたない声を出すなんてね

わっ、私もう

他の男の前で聞かせていないだろうか?

なわけっ

よし
いい子だ

ホントーの声
やめて欲しい
ダメ…ダメっ



あーっ

あーっ

さっきも
沢山出してたクセに
こんなに激しっ…

もうっ
なんなのよっ

アーチャーの声
だけでイっちゃい
そう……♡

何よ！
そのいい方！

私が変わって
いうの？

君が言葉で
攻め立てられるのが
好みだったとはね





後ろから
だと更に……

お前の表情を
見れないのが
少々もの足りぬが

締めつけが
キツいなっ

腹に
やわらかい尻が
当たって良い

セイバー
あまり食いつく
な
千切れてしま
い
そうだぞ？

うっ
うるさい！

そんな
性急に動か
してはっ……！

変態！

フッフ

キホルがり

あっ♡

んっ♡

ドクドク

グググ
グググ
グググ

キツキツ

あっ

キツキツ

キ

キツキツ

キツキツ

キツキツ

キツキツ

ん

ん

ん

ん

ん



きやつ?!

やはり顔が見えぬと興が乗らぬ

我が妻が相手となれば

まっ、まだやる気っ…

いくら種が散ろうとも

即復活だ!



なっ…なぜ私の顔を見るのです

アーチャー

それを訊くか

あんっ♡

こっちは

お前の恍惚とした表情を

見たいからに決まっておろうがっ

あなたの魔力が
沢山満たされて
いくわ…

今日は随分
積極的だったね

セイバー以外
誰も居ないし

ゆっくり
お風呂に
入れる

私ももう
限界だ…っ

凍っ…

おっ…

おっ…

ちゅっ

ちゅっ

おっ…

おっ…

おっ…

おっ…

おっ…

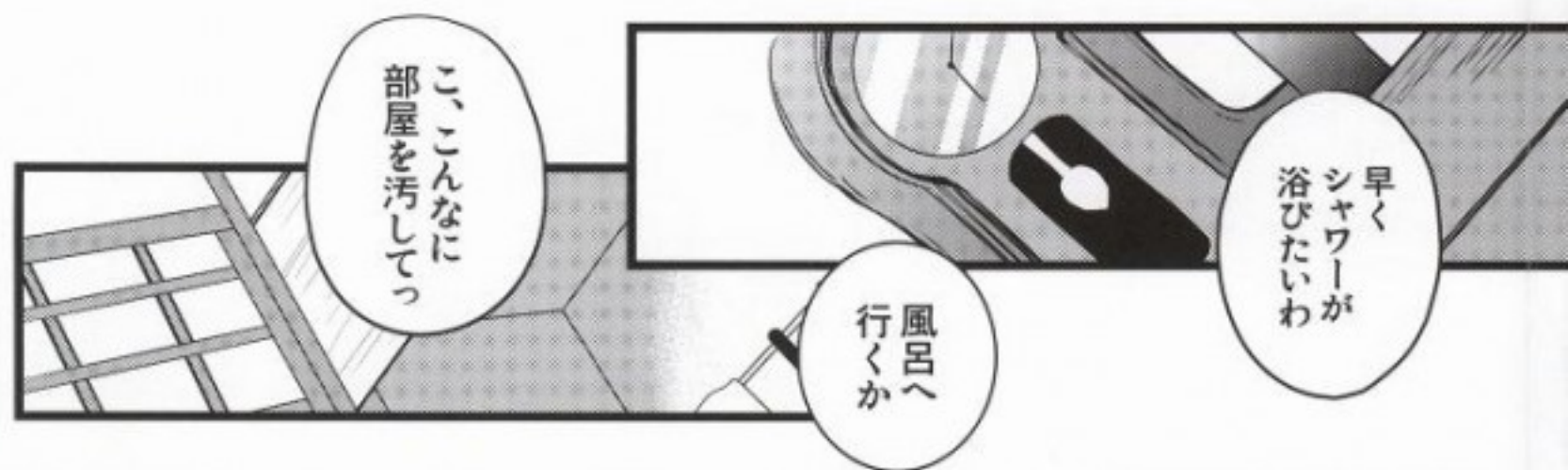
おっ…

おっ…

おっ…

おっ…

おっ…



成年向



イチャイチャ icyaicya
maryokukyoyuu

魔力♥供給

UNIZO